

本巢市学力向上サポート事業

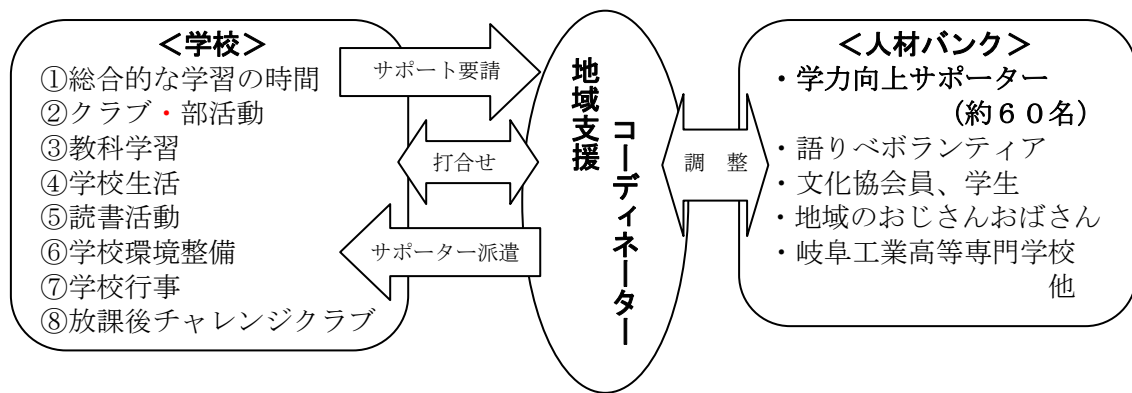
対象学校名等	本巢市12小中学校	対象学年	全学年
支援活動内容	地域住民による総合的な学校支援活動		

本巢市の願い

- ・地域の方々と学校が協力し合って、子ども達の「生きる力を」育んでいきたい。
- ・地域の方々の豊富な知識・技能・経験を子ども達に伝え、また共に活動をすることで、地域の大人たちに憧れをもち、より地域との関わりを深めようとする心を育てたい。
- ・学校教育に地域の方々が関わる場を設定することにより、地域コミュニティ構築及び、地域に根差した学校づくりを推進したい。

コーディネーターの関わり方

- ・本巢市教育委員会に「地域支援コーディネーター」を配置し、市内12小中学校を一括管理



活動の工夫

<活動事例1…本巢市立外山小学校 琴演奏>

- ・学力向上サポーターさんは、授業のチャイムと同時に琴が弾けるように早くから琴の準備（配置や調律）をしていました。
- ・2人に1面の琴があり、初めて琴を弾く児童には十分な時間が確保されていました。
- ・児童からは「また琴を弾いてみたい」「難しかったけど、一曲完成してうれしかった」など、達成感を味わった感想が多くありました。



<活動事例2…本巢市立弾正小学校 豆腐づくり>

- ・児童たちが作った大豆から、豆腐をつくりました。当日は学力向上サポーターの他に保護者の方が活動の補助に参加していました。
- ・マスクや手袋など、安全には十分な配慮がなされておりました。また、豆腐を固める時間を利用して食育についてのお話もあり、児童たちは、自分の食について学ぶ充実した時間でした。



活動の効果

- 学力向上サポート事業も4年目となり、学校と地域の絆づくりや子ども達と地域の絆づくりの一端を担っている。
- 平成26年度は市全小中学校で131回、放課後チャレンジクラブで26回の事業が開催されており、各学校で子どもの学びの一助となっている。
- 学力向上サポーターの登録は年々増加しており、学校の希望する学習に対応できる人材の確保ができています。
- 琴や豆腐作り等普段体験できない活動をすることで子ども達は地域のよさや日本の伝統に触れ、充実感を得ている。